

富山県民新世紀計画 2001-2010

水と緑といのちが輝く 元気とやま

人材

生活

環境

産業

国際

富山県民新世紀計画

みんなであつくりよう



県民の皆さんへ

21世紀の幕開けを迎え、時代は今、大きな転換期にあります。このようなときこそ、未来を洞察する明確なビジョンを持ち、これを着実に実行していくことが極めて重要です。

このため、県では、多くの県民の皆さんの英知を集め、21世紀初頭の県づくりの指針となる「富山県民新世紀計画」を策定しました。

この計画は、「水と緑といのちが輝く 元気とやま」を基本目標に、先人の努力によって生まれ、受け継がれてきたすばらしい自然や住みよい生活環境、多様な文化と産業、積極進取の県民性など、本県の特徴を活かしたオンリーワンの県づくりを進めようとするものです。

新世紀の夢を実現する主人公は、県民の皆さんです。みんなで力を合わせ、知恵も汗も出して、だれもが元気に輝き、しあわせに生きるすばらしいふるさと富山県の創造にチャレンジしていきましょう。

皆さんのご理解と積極的なご参加をお願い申し上げます。

平成13年 6月

富山県知事 中沖 豊

新世紀の富山県



計画策定の趣旨	3
現在の富山県	4
富山県政の10年間の歩み	5
人口・経済の見通し	7
時代の変化	8
県づくりの目標	10
五つの立県構想	11
新時代の行政運営	21
県民参加の挑戦目標	22
新たな飛躍をめざす長期構想	23
21世紀の県民生活の姿	27
計画を実現するために	33

私たちの夢を実現する21世紀のシ

計画策定の趣旨

富山県民新世紀計画がスタートする2001年は、21世紀の幕開けの年であり、百年単位、千年単位の時代の節目にあたります。

20世紀は、「戦争と技術の時代」であったと言われていますが、21世紀は、「平和と生命の時代」になるよう、平和を守り、かけがえのない生命を未来へ継承し、文化の発展に貢献していくことが、今に生きる私たちの使命です。

このような思いを込めて、計画を策定しました。

計画の期間は、平成13年度から22年度までの10年間です。(2001～2010年度)



計画の性格と役割

・県民が主役の「県民計画」

県民の、県民による、県民のための県づくりを進める「県民計画」です。県民の皆様から多くのご意見をいただき、計画に反映しました。計画の実施も、県民参画で進めていきます。

・世界の動きの中で未来を展望する「新世紀計画」

時代の変化と県づくりの方向を見定め、世界の中、日本の中の富山県として積極的な役割を果しながら、本県の発展をめざす「新世紀計画」です。

・これまでの成果と新しい知恵を活かす計画

20世紀に形成された社会資本や経験などの蓄積を活かしながら、新たな文化や産業の創造をめざす計画です。

・地方分権時代の魅力ある県づくりの計画

地方の自主性と個性を発揮し、**オンリーワンの県づくり**をめざす計画です。

*オンリーワン／唯一のもの。他に類のない独自なもの、個性的なもの。



ナリオです

現在の富山県

本県は、美しく豊かな自然や固有の文化等、優れた面を大切に受け継ぐとともに、長年にわたって県づくりに努力してきた結果、現在、全国でもトップクラスの「住みよい県」と評価を受けるようになりました。

たとえば、平成11年の経済企画庁の新国民生活指標(PLI)では、本県は「住む」、「費やす」の分野で全国第1位、「学ぶ」の分野で第3位になるなど、住みよさが評価されています。

一方、人口の少子・高齢化、産業の振興と雇用の創出などの課題を抱えており、これらに的確に対応していかなければなりません。

主要指標からみた富山県の姿(全国順位)



(注) 平成12年度末現在の直近データによる。外側ほど順位が高い。





世界遺産の合掌造り集落(平村相倉)



国宝瑞龍寺



2000年とやま国体

ソフト事業

- 新富山県民総合計画スタート
- 名古屋便、札幌便の就航
- 健康・福祉人材センターの設置
- オレゴン州との友好県州締結
- 第1回ジャパンエキスポ富山'92の開催
- 国際青年の村'92の開催
- ロシア沿海地方と友好提携締結
- ソウル便の就航
- 第1回ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバルの開催
- 県立大学大学院工学研究科(修士課程)の開設
- 全国高等学校総合体育大会の開催
- 技能五輪とやま大会、まなびピアとやま'94の開催
- 福岡便、ウラジオストク便の就航
- 環境基本条例の制定
- 福祉カレッジ、林業カレッジの開校
- 「五箇山の合掌造り集落」世界遺産に登録、恐竜足跡化石の発見
- 県のホームページの開設
- 県民福祉条例、県民文化条例の制定、県立大学の大学院博士課程の開設
- 全国都市緑化とやまフェア、国民文化祭とやま'96、全国マルチメディア祭'96の開催
- 県重油流出対策本部の設置
- 県民ボランティア総合支援センターの設立
- 環日本海環境協力センターの設立
- 環日本海環境自治体サミットの開催
- 小矢部市桜町遺跡で考古学上画期的な発見
- 瑞龍寺の国宝指定
- 富山・大連便の就航
- 柳田布尾山古墳の発見
- 第40回自然公園大会、全国食文化交流プラザ食祭とやま'98の開催
- 子ども県議会の開催
- NEAR21(北東アジア経済交流EXPO)の開催
- 社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業の実施
- 新産業ビジョンの策定
- 2000年とやま国体冬季大会の開催
- 2000年とやま世界こども演劇祭の開催
- 2000年とやま国体、きらりんぴっく富山の開催
- 国連機関の北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)の本部事務局設置決定
- 男女共同参画推進条例の制定
- 富山県民新世紀計画の答申

199
(平成)

199

199

199

199

199

199

199

199

200
(平成)

本県では、これまで「新富山県民総合計画」(1991～2000年度)に基づき、さまざまな施策を推進し、多くの実績をあげてきました。

これからは、これまでの成果と新しい知恵を活かした県づくりを進めていきます。

ハード事業

食品研究所の先端技術開発棟の完成
立山博物館の開館
県内初のCATV(ケーブルテレビ)の開局

総合教育センター、総合情報センターの竣工、情報工房の開館
海王丸パークの開園、こどもみらい館の開館

富山イノベーションパークの竣工
富山空港国際線旅客ターミナルビルの竣工
総合運動公園陸上競技場の開園

農業技術センターのバイオ研究棟の竣工
高岡総合プールのオープン
新川文化ホールの開館

水産試験場の深層水利用研究施設の完成
チューリップ遺伝資源センターの竣工
県立中央病院の改築完成

マルチメディア情報センター、国際交流センターの開所
消防防災ヘリコプターの導入
能越自動車道の福岡・小矢部砺波間の開通

中央植物園の開園
黒部職業能力開発センターの開所

心の健康センター、女性総合センターの開所
富岩運河環水公園の開園
工業技術センターの生活工学研究所の開所

中部縦貫自動車道の安房トンネルの開通
神通川左岸流域下水道一部供用開始
精神障害者社会復帰モデル施設「ゆりの木の里」の完成
立山カルデラ砂防博物館の開館
高岡オフィスパークの分譲開始

水墨美術館、総合福祉会館の開館、西部体育センターの竣工
国際健康プラザの開館(生命科学館、健康スタジアム、国際伝統医学センター)

富山市大手町地区の市街地再開発事業の完成
産業高度化センター、総合デザインセンターの開所
能越自動車道の高岡・福岡間の開通

立山センター(立山自然保護センター等)の開所
とやま都市MIRAI計画の主要事業の完成
東海北陸自動車道の五箇山・福光間の開通
北陸新幹線の富山・上越間のフル規格での建設決定



中央植物園



水墨美術館



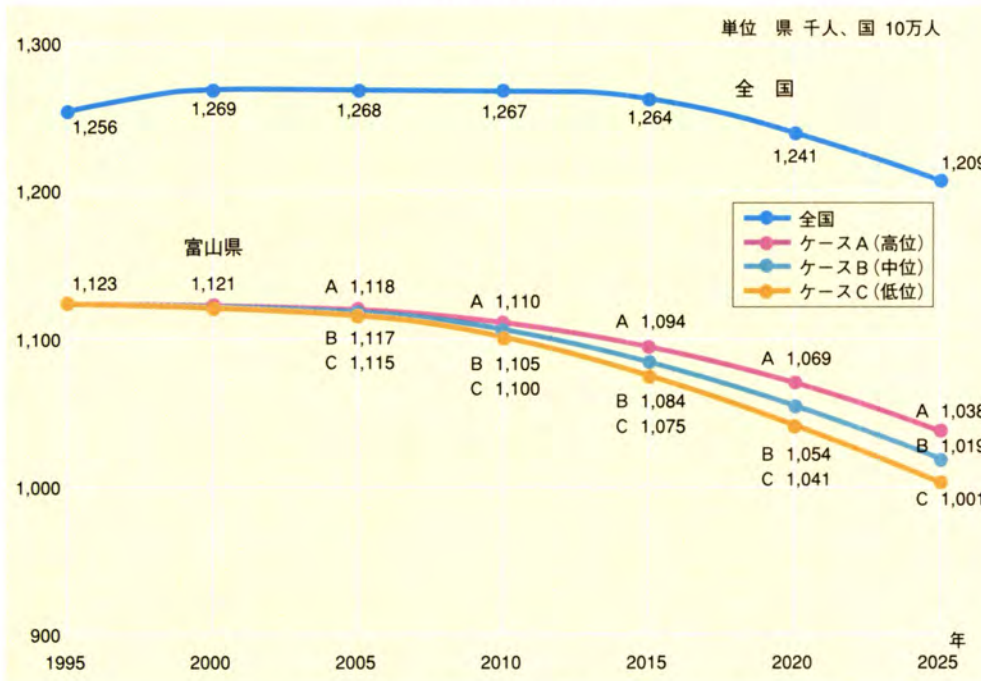
北陸新幹線

人口の見通し

全国的に出生率が低下してきているため、本県の総人口は、1998年(平成10年)の112万6千人をピークに、今後、ゆるやかな減少傾向をたどり、2010年(平成22年)には110~111万人程度、2025年(平成37年)頃には、100~104万人程度になるものと予測されます。

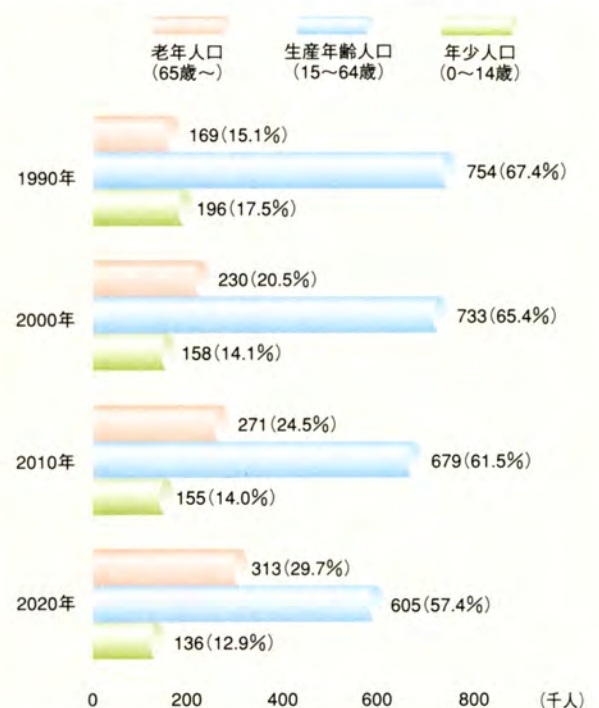
人口の年齢構成は、少子・高齢化が一層進むと見込まれます。

総人口の推移と見通し



(注) ケースA：合計特殊出生率（一人の女性が生む子どもの人数の平均値）が1999年の1.43から2015年までに1.82に回復する
 ケースB：同様に2015年までに1.62に回復する
 ケースC：合計特殊出生率が1.43のまま横ばいで推移する
 1995年、2000年は国勢調査の人口

人口構造の推移と見通し（富山県）



(注) 人口推計のケースBによる。
 1990年の数値は国勢調査の人口

経済の見通し

本県経済の見通しについては、国の経済見通しや各種統計資料に基づいて推計すると、2010年(平成22年)までの経済成長率は、おおむね年率2%程度(中位推計では、1.8%)と想定されます。

時代の変化

21世紀を迎え、時代の大きな潮流が、世界の隅々まで押し寄せてきています。時代の変化を的確に捉え、明確なビジョンを持つことが重要です。

グローバルな時代

1990年代に入り、東西冷戦構造が終焉し、市場主義とコンピュータネットワークが世界に広がり、経済、文化のボーダーレス化が急速に進んでいます。

とりわけ、環日本海地域は、世界最大の人口を擁する中国、天然資源が豊富なロシア、技術力と金融資本を有する日本や韓国が、互いに交流と協力を推進することにより、大きく発展する可能性があります。

高度情報化、ネットワークの時代

現在、急速に広がっている情報通信技術（IT）革命は、第3次産業革命と言われるほど、私たちの日常生活や社会制度、産業活動、国際関係等に大きな影響を及ぼしています。

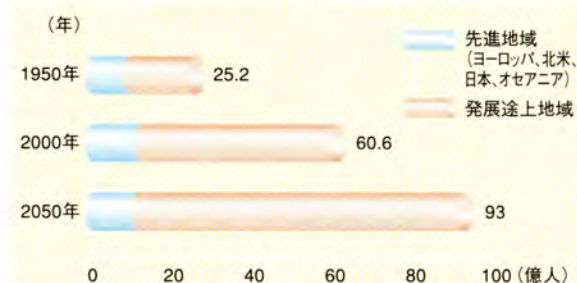
特にインターネットの発達は、私たちの生活に大きな変化をもたらしており、その活用が社会経済の発展のための重要な要素となっています。

環境の時代

世界人口の爆発的な増加や、アジア諸国等の工業生産力の増大等にともない、エネルギーの消費量は急増しており、地球温暖化など、地球規模での環境問題が深刻になってきています。

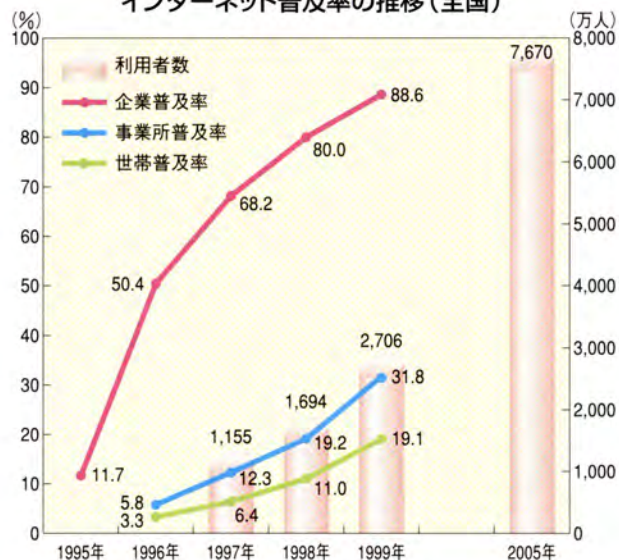
また、廃棄物や生活廃水が環境に大きな影響を与えており、大量生産、大量消費、大量廃棄型の経済社会システムから、循環型社会への転換が求められています。

世界の人口推移と将来予測



(資料) 国際連合「世界人口予測」2000年

インターネット普及率の推移 (全国)



(注) 企業普及率は、従業員300人以上
事業所普及率は、従業員5人以上
(資料) 郵政省「平成12年版通信白書」



高岡市立高岡西部中学校 3年 村田 純一さん
平成12年度「21世紀の富山」小中学生絵画募集作品より

*ボーダーレス化／経済活動などが世界的規模で行われるようになり、国境の概念がなくなっていくこと。
*地球温暖化／石油等の大量消費で排出された二酸化炭素の温室効果等により、平均地上気温が高くなっていくこと。

知恵と技術の時代

科学技術が目覚ましいスピードで進歩している現在は、多様な知恵の社会への発展過程にあります。

知恵と技術で社会の様々な課題を克服し、持続的な成長を実現していくためには、個性と創造性に富んだ人材の育成、独創的な技術を生み出す気風と社会の仕組みが求められます。

少子・高齢化、人口減少の時代

我が国の総人口は、出生数の減少等により、2007年に約1億2800万人でピークとなり、以降、減少傾向に転じるものと予測されており、また、少子・高齢化が先進諸国のどこよりも早く進行しています。

このため、経済成長率低下や労働力人口減少、福祉負担の増大などが懸念されており、こうした課題を克服していかなければなりません。

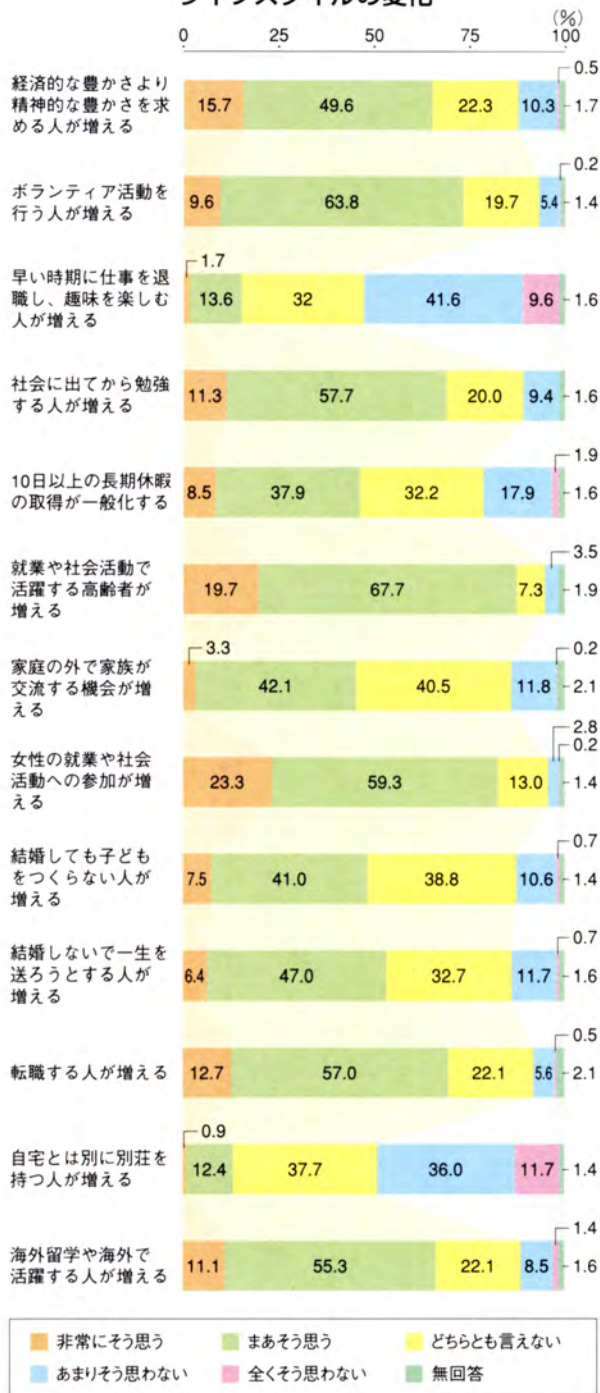
個性化、地方分権の時代

我が国は、これまで組織への帰属意識の強い社会を形成してきました。

しかし、人々の価値観の多様化や高度情報化の進展等により、自立と自己責任の考えのもとに、多様なライフスタイルや個性が尊重される社会、ネットワーク型の社会へ移行しつつあります。

また、地方分権時代を迎え、地方が自らの意思と責任で地域づくりを進めていく必要があります。

ライフスタイルの変化



(資料) 「平成10年度総合計画有識者アンケート調査報告書」

県づくりの目標

21世紀の県づくりの基本目標は、

水と緑といのちが輝く 元気とやま です。

これは、富山県の特徴を活かして、オンリーワンの県づくりをめざすものです。具体的には、

- ・豊かな自然と調和し、うるおいのある環境の中で、生命が輝き、しあわせいのちに生きる社会
- ・人、地域、産業が元気に自立し、知恵と技術を活かして力強く発展する富山県をめざします。

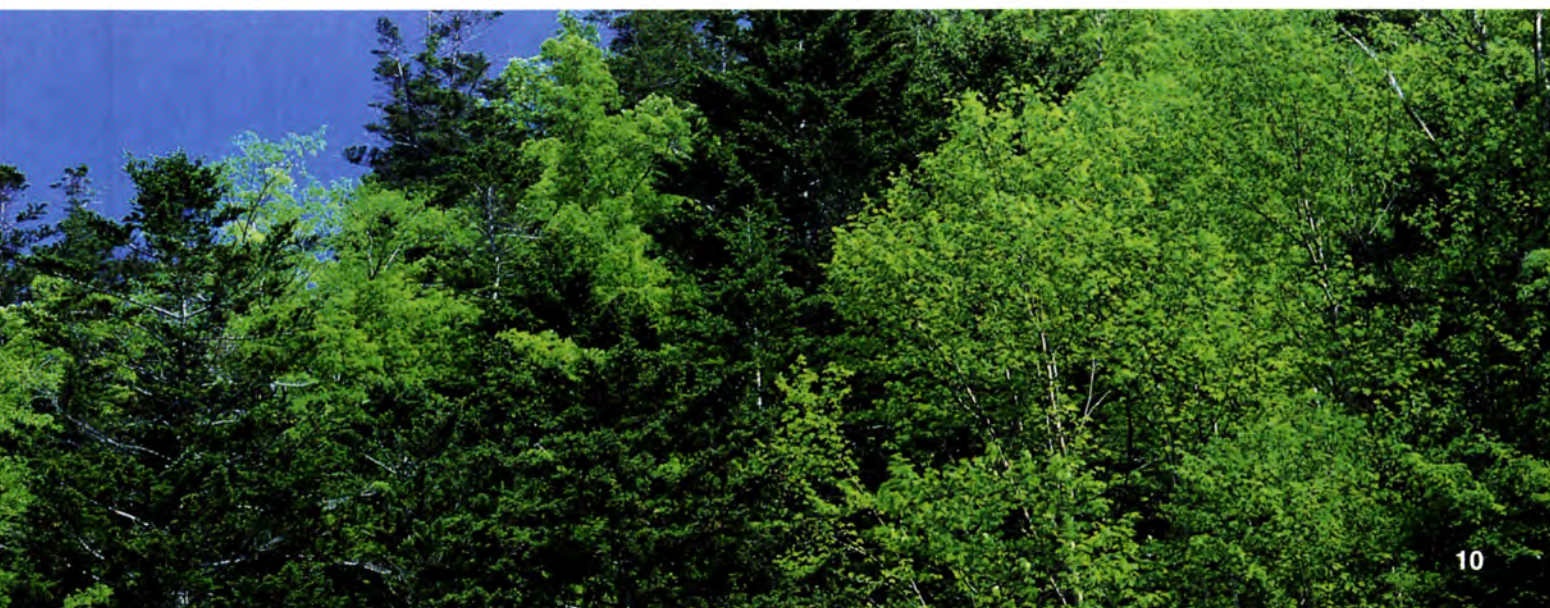


政策の柱 ～ 五つの立県構想

基本目標を実現するため、「人材」、「生活」、「環境」、「産業」、「国際」の「五つの立県構想」を政策の柱として施策体系を構築し、総合的に各施策を展開していきます。

2010年の県民指標

各分野ごとの目標を具体的な数値でわかりやすく示すため、150の指標を使い、200の目標値を掲げています。



私たちの元気が、とやまをつくる工

I 人材立県～元気で創造性豊かな人づくり

子どもや高齢者が明るく元気で、老若男女がいきいきと輝き、ボランティア活動や地域活動に参加するなど、県民が自らの能力を最大限に発揮する「元気とやま」の創造をめざします。

学校教育を充実するとともに、生涯を通じた学習を推進し、創造性や自立心、たくましい行動力を持った人材、社会への責任感にあふれた心豊かな人材を育成します。

1 元気とやまの推進

- ・ 活気あふれる県づくり、定住人口・交流人口の増大
- ・ 明日を担う子どもの育成、少子化対策の推進
- ・ 若者と中高年世代の活躍
- ・ 明るく元気な長寿社会の実現
- ・ 共に輝く男女共同参画社会の実現
- ・ NPO(民間非営利組織)・ボランティア活動の推進

2 健康づくりとスポーツの振興

- ・ ライフステージに応じた健康づくり
- ・ 総合型地域スポーツクラブの育成など、国体の成果を活かしたスポーツの振興
- ・ 高齢化等に対応した疾病予防対策の推進
- ・ 適切で質の高い医療の確保



立山登山に向かう小学校6年生(左：立山カルデラ砂防博物館 右：称名滝)

<2010年の県民指標>

児童館、児童センター、ミニ児童館の設置数



・ 子どもが健やかに育つ環境づくりのための整備目標です。



男女共同参画を推進する富山県民共生センター

エネルギーです



元気な子どもたちの運動会

3 教育の充実・生涯学習の推進

- ・元気で心豊かな子どもの育成
- ・社会に学ぶ14歳の挑戦事業など、創造性と社会性を育む学校教育の推進
- ・個性豊かで創造的な人材を育成する高等教育の充実
- ・生涯学習県とやまの推進

4 科学と文化の振興

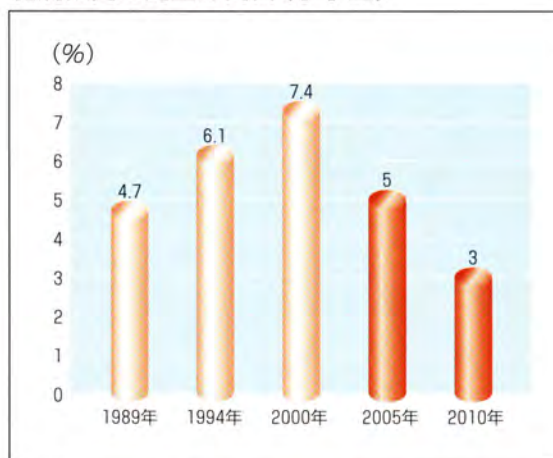
- ・科学技術、芸術文化を担う人材の育成
- ・地域の歴史・文化・自然を活かした文化のふるさとづくり
- ・香り高い芸術文化の振興、国内外との交流の推進

5 心豊かな社会の実現

- ・人権やいのちを尊重する社会の確立
- ・余暇・レクリエーション活動の推進
- ・親切で郷土を愛する、心ふれあうライフスタイルの推進



肥満傾向の児童の割合(小学生)



*NPO (Non Profit Organization) / 利潤を上げることが目的としない公共的な活動を行う市民活動団体。特定非営利活動促進法に基づき法人格を取得した団体をNPO法人という。

・児童の食生活習慣、栄養管理の改善の成果を表わす指標です。全国平均:2.7%(2000年)

みんなの笑顔は、暮らしやすさのシ

Ⅱ 生活立県～安全・安心で快適な暮らしづくり

社会福祉の充実や防災体制の整備、生活環境の充実に取り組み、安全・安心で暮らしやすい社会を実現します。

また、生活、産業、まちづくり、交流などあらゆる分野の社会基盤である交通、情報通信の利便性を高め、誰にとっても住みやすい、そして住んでみたい富山県をめざします。

1 地域総合福祉の充実

- ・ 富山県福祉カレッジなどによる福祉を担う人材の育成
- ・ ユニバーサルデザイン化など、福祉のまちづくり
- ・ 介護保険制度の円滑な運営
- ・ 高齢者福祉の充実、痴呆性高齢者の支援対策
- ・ 障害者の自立支援と福祉施策の充実

2 安全な暮らしの確保

- ・ 地域防災体制の整備
- ・ 消費者保護対策の推進
- ・ 食品の安全、衛生的な生活環境の確保
- ・ 交通安全や防犯対策の推進

3 快適な生活の実現

- ・ 地域活動の活性化など温かい地域社会の形成
- ・ 快適でゆとりある住環境の整備
- ・ 全県域下水道化の推進

4 総合的な交通政策の推進

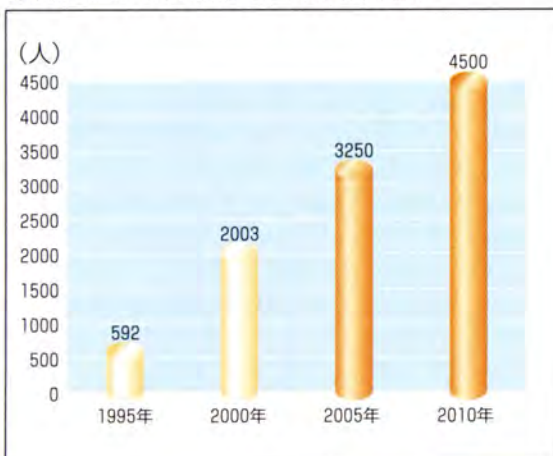
- ・ 北陸新幹線や高速道路などの広域高速交通体系の整備
- ・ 公共交通機関の維持活性化など、地域交通体系の整備
- ・ パーク・アンド・ライドなど、人にやさしく環境に配慮した交通施策の推進

5 夢がふくらむ高度情報社会の実現

- ・ 県民の情報活用能力の向上
- ・ 教育、保健・医療・福祉や産業など、さまざまな分野における情報通信技術（IT）の活用
- ・ 光ファイバー、ケーブルテレビなどの情報通信基盤の整備

<2010年の県民指標>

県内における介護福祉士の登録者数



・ 福祉を担う人材の養成の状況を表わす指標です。



きらりんびっく富山

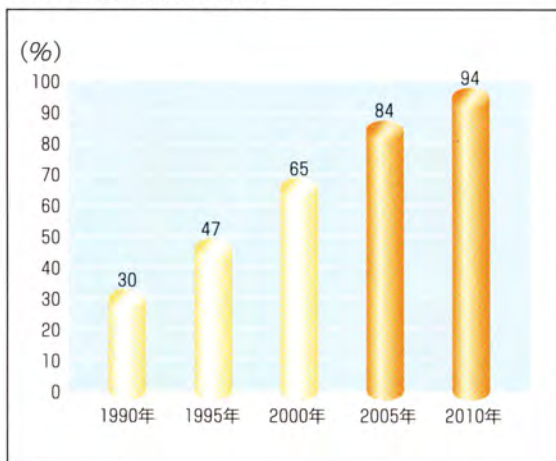
ンボルです

交流が広がる広域交通ネットワーク



北陸新幹線	所要時間	富山～東京間(現在:3時間7分→計画:2時間7分……1時間の短縮) 富山～大阪間(現在:3時間5分→計画:1時間20分……1時間45分の短縮)
東海北陸自動車道	所要時間	富山I.C～名古屋(一宮J.C.T)約2時間45分(全線開通時)

污水处理施設の整備率



・下水道、合併浄化槽等の整備状況を表わす指標です。



入善町のコミュニティバス「のらんマイ・カー」

*ユニバーサルデザイン／建築物や一般向けの製品について、高齢者や障害者にも配慮して誰もが使いやすい機能を備えたデザイン
 *パーク・アンド・ライド／マイカーを郊外の駐車場に置いて、電車、バスに乗り換えて通勤すること。
 *光ファイバー／ガラス繊維あるいはプラスチック繊維でつくられた通信用ケーブルのこと。長距離の大容量・超高速の通信を可能にする。

美しい環境は、人と自然のハーモニ

Ⅲ 環境立県～環境と調和した美しい地域づくり

豊かな環境の保全と創造に取り組み、循環型社会の形成をめざします。

魅力ある都市整備、農山漁村づくりを進め、水と緑のうるおいある環境と景観を創造し、美しい県土をつくります。

さらに、水・雪の総合的な管理と活用、富山湾・海洋の利活用に取り組みます。

1 豊かな環境の保全と創造

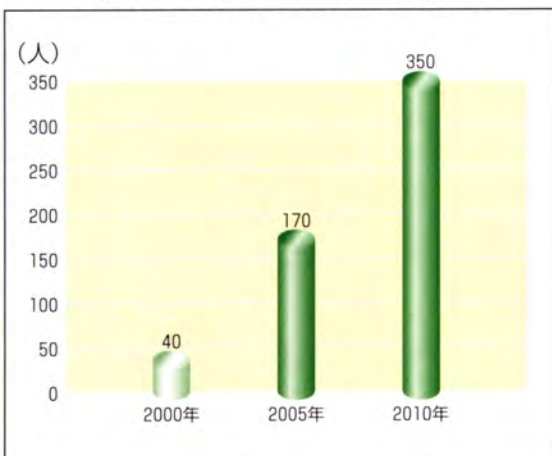
- ・環日本海地域の国際環境協力など、地球環境対策の推進
- ・自然環境の保全、自然とのふれあいの推進
- ・廃棄物の減量化など、環境への負荷の少ない循環型社会の形成
- ・ダイオキシン対策の推進など、大気、水、土壌の汚染の防止

2 魅力あふれる美しい県土づくり

- ・全県ネットワーク社会の実現
- ・快適で魅力あふれる都市の形成
- ・地域資源と文化を活かした農山漁村づくり
- ・景観条例(仮称)の制定、全県域公園化の推進など、うるおいある景観づくり
- ・有峰森林文化村構想など、立山・黒部・有峰の保全と活用

<2010年の県民指標>

ジュニアナチュラリストの認定者数(累計)



・自然保護思想の普及啓発に関する指標です。
(小学5年生以上20歳未満の富山県自然保護講座修了者)



うるおいのある河川空間(八尾町、井田川)

一です



ナチュラリストの活動風景



美しい田園空間、砺波平野の散居村

3 花と緑の彩りある県づくり

- ・ 県民の緑化に対する意識の高揚と緑化活動の推進
- ・ 花と緑のベルトづくり、田園空間の保全
- ・ 花と緑にふれあう場の整備と活用

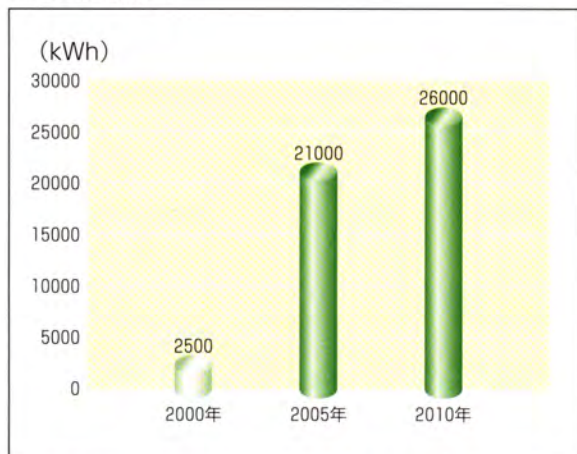
4 水と雪の総合的な管理と活用

- ・ 上流から下流、海に至るまでの流域全体の水の総合的
管理と活用
- ・ 雪に強いまちづくり、雪国文化の創造
- ・ 水博物館構想の推進

5 恵み豊かな富山湾・海洋の利用

- ・ 海洋・沿岸域の保全と活用
- ・ 深層水の活用と海洋研究の推進
- ・ 日本海ミュージアム構想の推進

ごみ発電能力



・ 新エネルギーの利用促進に関する指標です。



富岩運河環水公園と富山駅北地区

魅力ある産業は、とやま発のプラン

IV 産業立県～知恵と技術が活きる産業づくり

グローバル化、高度情報化などに対応し、知恵と技術を活かして、農林水産業、工業、商業・サービス業などの振興を図り、活力ある産業づくりを進めます。

また、雇用の安定と創出、ゆとりある勤労者生活の実現に努めます。

1 知恵の時代の産業展開

- ・ 情報通信技術 (IT) ・ バイオ ・ 深層水等の成長産業、福祉・環境等の新産業の振興
- ・ 産学官の連携による研究開発の推進と高度情報化への対応
- ・ 先端的な産業集積に結びつく企業誘致の推進、企業の実情に応じたきめ細かな企業立地サービスの提供
- ・ 人材の育成や経営基盤の強化など、中小企業の振興



深層水を活用した養殖研究 (県水産試験場)

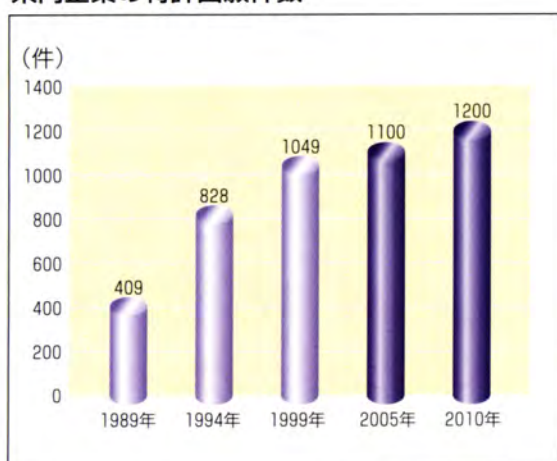
2 水と大地が育む農林水産業の振興

- ・ 安全で新鮮な農林水産物の生産と供給
- ・ 県土保全など、多様な機能を持つ森林の整備
- ・ 資源管理型漁業の推進、深層水の利用
- ・ 農林水産業の担い手の育成確保、新技術の開発と普及



県バイオテクノロジーセンター

<2010年の県民指標>
県内企業の特許出願件数



・ 企業の技術開発の成果を表す指標です。



高岡オフィスパークの中核施設、サンセンター

ドです



小学校における農業体験学習



県工業技術センター中央研究所



黒部職業能力開発センター

3 知的でたくましい工業の振興

- ・産学官共同プロジェクト、企業への技術移転の推進
- ・企業経営への情報技術の導入や電子商取引の促進など、企業の情報化の推進
- ・デザイン開発力の強化
- ・地域の特徴を活かした地場産業等の振興

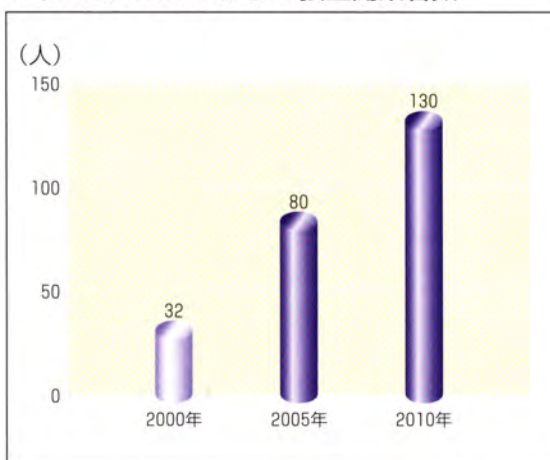
4 商業・サービス業・観光の振興

- ・中心市街地の活性化、魅力的な商店街づくり
- ・産業活動や生活を支援する多彩なサービス業の振興
- ・自然や歴史、文化を活かした観光・交流型産業の振興

5 雇用の安定と勤労者福祉の充実

- ・雇用の安定と新規雇用の創出
- ・個性と能力を活かす職業能力開発の推進
- ・仕事と子育てや介護等との両立支援

チャレンジショップからの独立開業者数



・商業サービス分野における新規開業を表わす指標です。

***バイオ/バイオテクノロジー**（生物工学）。生物を工学的見地から研究し、応用する技術。遺伝子組み換え、細胞融合などの技術を利用した品種改良や医薬品・食料の生産を行う技術など多岐にわたっている。

***深層水**／日本海では、水深300m以深の水域にある固有冷水のことで、富栄養、低温、清浄であるなどの特性がある。水産分野のほか、健康飲料水など非水産分野の活用研究が進められている。

広い視野と交流が、世界へのパスポート

V 国際立県～環日本海交流の中央拠点づくり

国際感覚豊かな人材の育成、空港や港湾等の基盤整備、国際交流と国際協力を推進し、世界に開かれ、世界の平和と発展に貢献する富山県をめざします。

また、本県の地理的条件を活かし、環日本海交流の中心的役割を果たし、本県と環日本海地域全体の発展をめざします。

1 世界に開かれた県づくり

- ・国際感覚豊かな人材の育成、生きた外国語教育の推進
- ・外国語による情報提供など、外国人が暮らしやすい地域づくり
- ・(財)とやま国際センターや市町村の国際交流協会の活動の充実など、国際化を支援する体制の整備

2 国際化の基盤整備

- ・空港、港湾等の基盤整備
- ・交流と連携を促進する広域交通ネットワークの整備

3 多彩な国際交流の推進

- ・文化・スポーツなど、多様な友好交流の推進
- ・展示商談会の開催や国際観光の推進など、経済交流の促進

4 国際社会への貢献

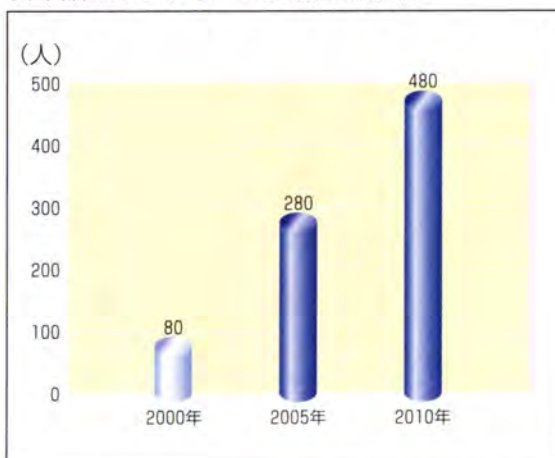
- ・富山県ODA(国際協力援助制度)の創設
- ・県民や民間団体による自発的な国際貢献活動の推進
- ・研修員の受入れや日本語教育機関の開設など、人材育成への協力
- ・平和思想の普及啓発

5 環日本海交流の推進

- ・中国、北朝鮮、モンゴル、韓国、ロシアの自治体や団体との交流促進
- ・(財)環日本海環境協力センターの国際環境協力の推進
- ・国際連合の機関である北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)本部事務局の活動支援
- ・環日本海諸国の大学ネットワークの形成
- ・「日本海学」の確立と普及

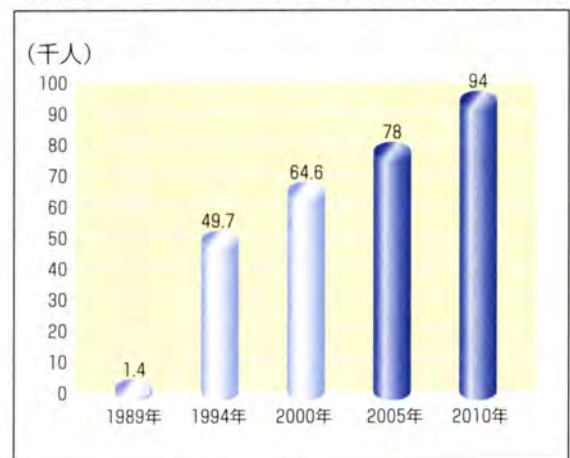
<2010年の県民指標>

日本語ボランティアの養成数(累計)



・県内に在住している外国人に、日本語を教えるボランティアの数です。外国人が暮らしやすい地域づくりを表わす指標です。

大連便、ソウル便、ウラジオストク便等の利用者数



・環日本海地域との交流状況を表わす指標です。

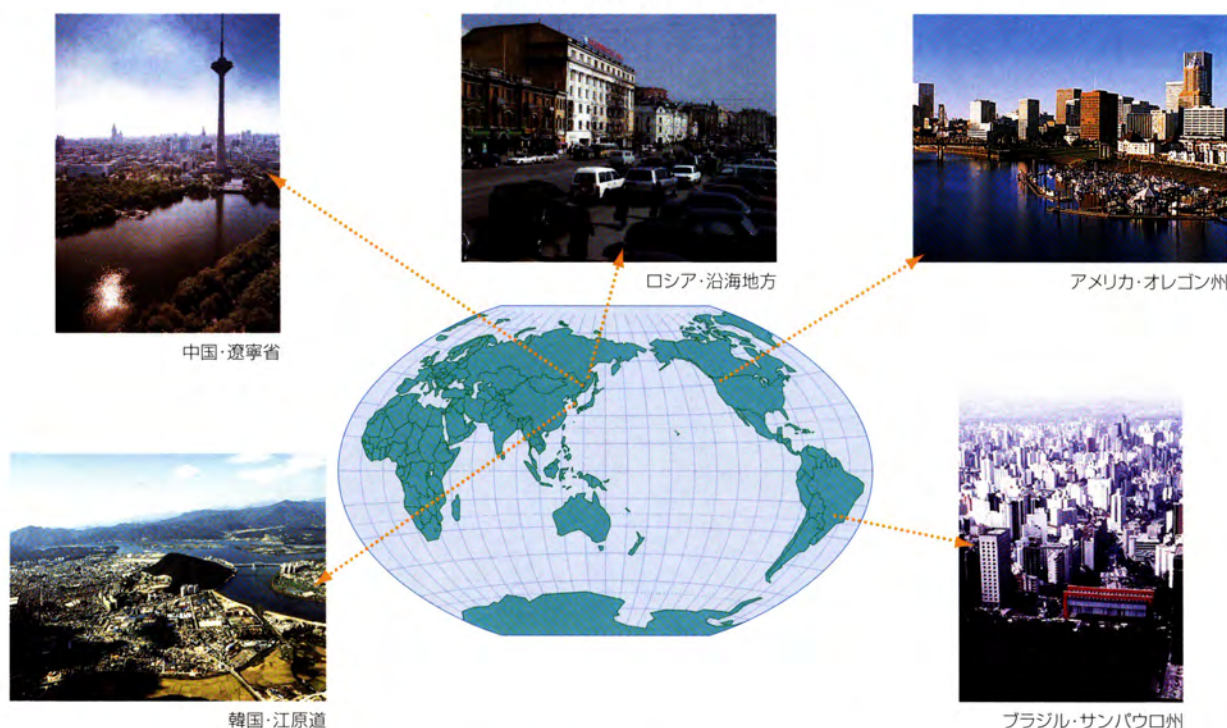
トです

環日本海地域における富山県の位置(恵まれた地理的条件)



()内は、定期航空路線の便数と所要時間(平成13年4月現在)

富山県の友好交流の広がり



* (財)環日本海環境協力センター／日本海及び黄海の海洋環境保全の推進組織として本県で設立された全国法人

* 北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP:Northwest Pacific Action Plan)／国連環境計画(UNEP)の下で、日本海及び黄海の環境保全と資源管理を目的とした日本、中国、韓国、ロシアの4か国による取り組みのこと。本部事務局は、日本と韓国で共同設置されることとなり、日本における設置場所は、富山市に決定された。

新時代の行政運営～住民と地方が主役の県づくり

地方分権時代を迎え、住民自治の考えのもとに、県民が主役の県づくりを進めます。
また、魅力ある地域づくりと行財政改革を進め、新たな時代にふさわしい行政システムの確立をめざします。

1 県民が主役の県政の推進

- ・「県民本位の県政」、「県民参画の開かれた県政」、「わかりやすい計画県政」の推進
- ・行政評価制度の導入
- ・情報公開と電脳県庁の推進
- ・施策に県民の意見を反映させるパブリックコメントの導入
- ・公的部門におけるボランティア、NPO等の活動の促進
- ・インターネット、ケーブルテレビなどを活用した広報活動の推進

2 地方集権（地方分権）と広域行政の推進

- ・職員の政策形成能力の向上
- ・多様な分野で独自性を発揮する施策の展開
- ・市町村の特色を活かした地域づくり事業への支援
- ・合併に関する市町村の自主的、主体的な取り組みへの支援
- ・県境を越えた広域連携の推進

地域づくりの方向 ～全県ネットワーク社会の実現

各地域が個性と自主性を発揮して、多彩なオンリーワンの県づくりを進めます。

また、地域間の機能分担と連携強化を進め、各地域において快適で便利な生活が営める「全県ネットワーク社会」の実現をめざしていきます。

県民新世紀計画では、新川、富山、高岡・射水、砺波の各圏域について、特色を活かした振興方向を示しています。

3 行財政改革の推進

- ・財政の健全化、事務事業の見直し
- ・限られた財源と人員の効果的配分
- ・組織機構・外郭団体の見直し
- ・職員数の削減
- ・民間委託や民営化の推進、PFI手法の活用



砺波市立出町中学校 3年 松村 咲子さん
平成12年度「21世紀の富山」小中学生絵画募集作品より

*行政評価制度／施策や事業を成果、効率性等の観点から評価することにより、事務事業の見直しや行政サービスの向上を図る制度

*パブリックコメント／新しい施策を打ち出したり、制度を変更しようという時に、その内容を事前に公表し、意見を募集すること。

*地方集権／地方分権のことを、本来地方に権限があるべきという意味を強調する場合に、本県では、「地方集権」という言葉を用いている。

*電脳県庁／県庁の情報管理を高度に電子化、ネットワーク化し、行政運営の効率化を図るもの。県民からの申請、届け出、問い合わせなどをインターネットで行うことができる体制を整備する。

*PFI (Private Finance Initiative)／公共施設等の建設、運営等を民間の資金や経営能力などを活用して行う新しい手法のこと。

県民参加の挑戦目標 ～ 一人ひとりが新世紀の県づくりにチャレンジ

県民参加の挑戦目標は、豊かな自然や文化、勤勉な県民性など、本県の特徴を活かしながら、私たちの日常生活の中で取り組むチャレンジ目標です。新世紀にふさわしい、魅力的なライフスタイルを富山県から世界に発信し、国内外に誇りうるオンリーワンの県づくりをめざしましょう。

健康とスポーツのはつらつ県

県民一人ひとりが、健康づくりやスポーツ活動を実践し、みんなが元気な県をめざしましょう。



子どもと若者のいきいき県

豊かな心とたくましい身体を持つ子どもたちが育ち、若者が集い、交流する活気あふれる県をめざしましょう。



生涯学習と文化の創造県

生涯学習や文化活動による交流を通じて、創造性豊かで文化の香り高い県をめざしましょう。



情報とバイオの躍進県

情報、バイオ、深層水等の新技術・資源を活用して産業が発展し、便利で豊かな生活をおくることができる県をめざしましょう。



水と緑と食の快適県

豊かな自然、水、食材を守り、育み、さらに活かして、環境にやさしいライフスタイルと富山ならではの食文化の発展をめざしましょう。



夢と希望が、未来を拓くグランドデザイン

新たな飛躍をめざす長期構想

この長期構想は、10年の計画期間を超えた長期的な視点から、本県の魅力や個性を活かして、継続的に取り組んでいく重点課題を12のテーマにまとめたものです。

夢と希望を持って、21世紀前半の新たな飛躍をめざしていきます。



環日本海地域の中央拠点構想

学術機能や頭脳産業の集積、国際的文化交流等により、本県が環日本海地域の中央拠点として発展し、さらにはアジアにおける頭脳拠点の一つとなることをめざします。



人づくりのパイオニア県構想

元気で明るい子どもたちの育成、人間教育、生涯現役人生の実現、明るく積極的な県民性の醸成をめざします。



生命科学の 国際的基地構想

東洋医学と西洋医学を組み合わせた健康医療基地づくり、生命科学(バイオ)の研究機能の集積をめざします。

デザインです

大交流時代の未来都市構想

東海北陸自動車道、北陸新幹線の全線開通を見据え、機能的で魅力ある都市整備を進め、各地域において風格のあるまち、個性的なまちづくりをめざします。



食文化のふるさと構想

富山県特有の水と緑と大地の恵みを活かし、農林水産業の振興と食文化の発展を図り、富山県を国内外にアピールします。

全県快適いやし空間構想

各地域において、「水と緑」など、自然との調和や景観に配慮した、ゆとりとうるおいのある「快適いやし空間」の創造をめざします。



「不思議の海 富山湾」フロンティア構想

深層水等の海洋資源を有効活用し、産業化を進めるなど、富山湾と沿岸域の総合的な利活用を図ります。



エコピアとやま構想

ごみの減量化や自然と共生するライフスタイルの確立、新エネルギーの導入など、環境にやさしい循環型社会をめざします。



「立山・黒部・有峰 世界の宝」構想

立山・黒部・有峰などの立山連峰一帯を、県民が世界の宝として再発見し、保護と利活用を図ります。

歴史と文化の浪漫回廊構想

世界遺産、国宝、遺跡、芸術文化、祭り等の活用と、優れた芸術文化の振興により、国内外に誇る歴史・文化の回廊の形成をめざします。



電腦とやま構想

情報通信基盤整備とソフト開発などにより、地域の情報化、情報関連産業の振興、ネットワークを活用した県民活力の発揮をめざします。



とやま「ものづくり」ルネッサンス構想

日本海側屈指の工業集積、すぐれた技術力、多様な伝統産業の基盤を活かし、世界のものづくり基地の形成をめざします。

21世紀の県民生活の姿

新世紀初頭においては、これまで以上に科学技術が進歩し、私たちの暮らしはさらに便利で豊かになり、その一方で人口の少子・高齢化、地球規模での資源・環境問題、犯罪や失業の増加など、さまざまな社会問題があるものと予想されます。これらに対しては、新しい知恵と技術、人々の協調と連帯により克服していかなければなりません。

また、家族の絆や人間性の回復、一人ひとりの個性的な生き方（ライフスタイル）がより重視される時代になると見込まれます。心豊かで充実した県民生

活を実現していくためには、豊かな自然、住みよい生活環境、多様な文化と産業等、本県の優れた面を守り、未来に継承していくとともに、積極進取の精神を発揮し、新たな文化を創造していかなければなりません。いわば、「継承と創造」が、これからの重要な視点になってくると考えられます。

以下は、これからの時代潮流や将来の県民生活の姿をわかりやすく示すため、おおむね20年後の2015～2025年頃を想定して、ある家庭における1日の生活を描いたものです。

登場人物



立山太郎
45歳、家庭用ロボット製造会社勤務



立山洋子
43歳、芸術文化分野のフリーライター



立山愛子
中学3年生



立山健一
小学6年生



太郎の父
中山間地域で妻と二人暮らし 73歳、多趣味



太郎の母
富山大学の聴講生68歳、環境保全活動のボランティア



赤坂夫婦
3年前、東京から富山県に移り住む
夫人は洋子さんの友達で、デザイナー29歳
夫は、会社勤めをやめ、農業経営、33歳



*パーク・アンド・ライド／14ページ参照 *ユニバーサルデザイン／14ページ参照

*燃料電池車／水素やガソリンを燃料とする発電装置を搭載した自動車

*高度道路交通システム（ITS: Intelligent Transport Systems）／道路と自動車、自動車と自動車の間の通信システム等を用いて、交通事故の防止、渋滞の解消等を図るシステム

朝

立山さんの家族は、太郎さん、洋子さん夫婦と、中学3年生の愛子さん、小学6年生の健一くんの4人家族です。

家は郊外の7LDKの一戸建てで、最新の太陽光発電システムを備え、120坪余りの土地に菜園もあります。

(住環境、水と緑)

洋子さんは、起きるとすぐにジョギングに出かけるのが日課です。最近、塀のある家が減り、ガーデニングで手入れされた美しい庭に花や緑があふれ、まるで公園の中を走っているようで爽快です。

あちこちに森のような街路樹の木陰があり、近くの公園には河川水を引き込んだビオトープ(生物共生空間)があります。

空気が澄んでいて、晴れた日には立山連峰が見え、川や海も下水道が全県に普及したため、一段ときれいになりました。

10分ほど走ると、目に入る青々とした田園風景が心をなごませてくれます。



(朝食)

今日の朝食当番は、太郎さんです。料理の支援ソフトがあり、家族の好みや栄養を考えた週間献立表にしたがって準備します。

「富山米」がおいしいので、立山家はご飯党ですが、コメとぎから炊飯まで全自動になり助かっています。

(通勤通学、交通基盤の整備とまちづくり)

朝食を済ませると間もなく、健一くんの携帯電話から、通学バスの接近を知らせる音が鳴ります。愛子さんは、自転車で学校へ行きます。道路の両側に、段差のない幅の広い歩道や、自転車専用道があるので安心です。

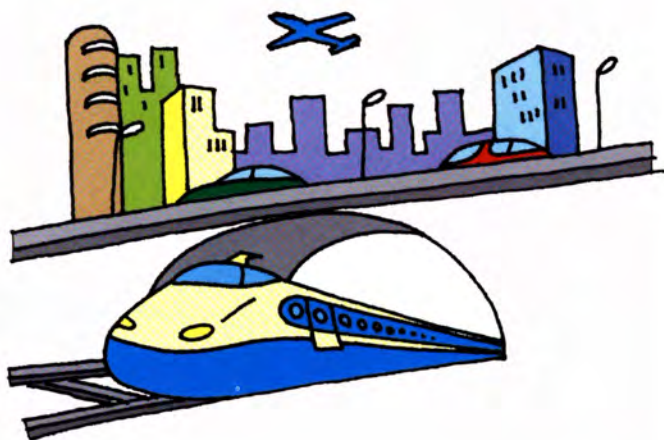
太郎さんは、郊外でマイカーから市内電車に乗りかえるパーク・アンド・ライドで富山市にある会社へ通勤しています。車は、環境にやさしい燃料電池車です。高度道路交通システム(ITS)のおかげで、目的地までの最短時間のコースがわかるので、渋滞に巻き込まれることはほとんどありません。

富山市内に入ってから、市内電車に乗り換えます。高齢者や障害者にも乗り降りしやすいユニバーサルデザインの設計になっており、多くの人が利用して、中心街はにぎわっています。

北陸新幹線や東海北陸自動車道、能越自動車道などの開通で、人、モノ、情報などの流れが目に見えて活発になり、県内各地の文化活動や産業活動が活気にあふれています。

北陸新幹線の駅周辺など、各都市は街並みが美しく整備され、県外からのビジネスマンや観光客が増えてきました。

各市町村では、景観に配慮した個性的で風格のあるまちづくりが、住民参画で取り組まれており、伝統的な街並みも守られています。



*太陽光発電/太陽電池など、太陽の光エネルギーを電気エネルギーに変換する発電装置

(在宅勤務、人口の流入)

洋子さんは、芸術文化分野のフリーライターをしており、全国各地のコンサートや美術展などを取材し、家で原稿を書いて、依頼のあった雑誌社などに電子メールで送ります。

2時間ほどして、洋子さんが一息ついてお茶を飲んでいると、ボランティア活動で知り合った赤坂さんからテレビ電話がかかってきました。明日のフリーマーケットに出す品物を画面で見せ合って、打ち合わせをしました。

赤坂さんは、東京で広告デザインの仕事をしていたのですが、北陸新幹線の開通でビジネスが便利になったことなどから、3年前、夫婦で富山県に移り住んできました。念願のマイホームが実現し、子どもも誕生してとても幸せそうです。

彼女は、「富山に来て本当によかった。自然環境がすばらしく、人々が親切で、とても住みやすいし、仕事もやりやすい。子どもの教育環境も優れている。」と言っています。

(新しい農業)

赤坂さんの夫は、会社勤めをやめて、富山県で本格的に農業を始めました。農業経験豊富な仲間と会社をつくり、有機肥料を使ったサトイモなどの野菜を生産し、インターネットで消費者への直接販売もしています。

無農薬が好評で、今では富山ブランドの一つとして知られるようになり、東京や名古屋などからも注文が増えてきたそうです。

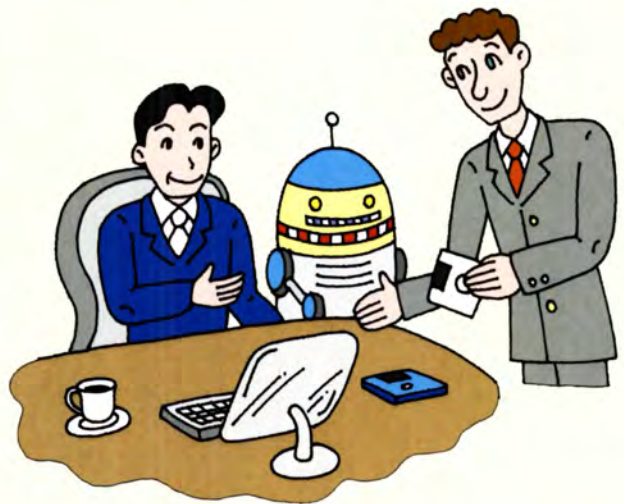


(国際化する企業、多様な雇用システム、子育て等の雇用環境)

太郎さんは、フレックスタイム制を利用しており、9時30分に会社に着きます。太郎さんが勤めている会社は、家庭用ロボットを製造しています。どこの職場でも、女性も男性も対等に働いているので、家事を助けてくれるロボットは、今や不可欠になっています。

会社の取引先は、全世界に及んでおり、外国人の従業員も多くなっていますが、若い社員は、小学生時代から、しっかりとした英語教育を受けているため、コミュニケーションは全く問題がありません。

太郎さんも、海外勤務の経験があるので、日常の会話は不自由がありませんが、専門的な会話や英語以外は、小型の自動翻訳機を使います。



雇用形態は、能力給や年俸制が一般的です。企業内保育所が整備され、育児休業も取りやすくなっているので、この会社では最近では出産ブームで、男性社員も育児休業を積極的に取得しています。

工場は建物全体がバリアフリーになっており、障害のある人も一緒に仕事をしています。

(産業の動向)

新幹線や高速道路網、空港・港湾の整備が進んだ富山県は、産業の立地条件が良いため、先端技術を活かした新産業やベンチャー企業が次々と生まれています。

地場産業もデザインや技術開発に積極的で元気がよく、若者の就職先も増えています。

富山湾の深層水の微生物から発見した有効成分を利用して、がん治療薬が生産されるなど、「薬の富山」の伝統が確実に受け継がれ、バイオ研究や医薬品開発が盛んに行われています。

（学校教育）

中学3年生の愛子さんは、科学の授業中で、各自の机に組み込まれたパソコンを使いながら授業を受けています。

クラスは少人数教育が進んでいて、分かるまで教えてもらえるようになっており、児童生徒の悩みに対する相談体制も充実しています。



また、親たちは、しつけや自立心の育成など、家庭教育に熱心です。

小中学校では情報化が進む一方で、読書や体験学習、郷土学習にも力を入れており、ボランティアをしたり、地域の企業の人や郷土史研究家の話を聞いたりもしています。多くの学校には、近くにビオトープなど、自然とのふれあいを体験できる場所があります。

高校では、希望すれば大学の講義も一部受けるこ

とができます。大学は、多様化が進み、社会のニーズに応じたさまざまなコースが設けられ、また、インターネットなどを利用して多くの社会人が学んでいます。

（地域活動）

お祭りが近いので、健一くんは放課後、近所の大人や子どもたちと一緒に、獅子舞の練習をしています。

どの地域においても、お祭りや民謡・民舞など、地域の文化がきちんと受け継がれ、人々の誇りになっています。

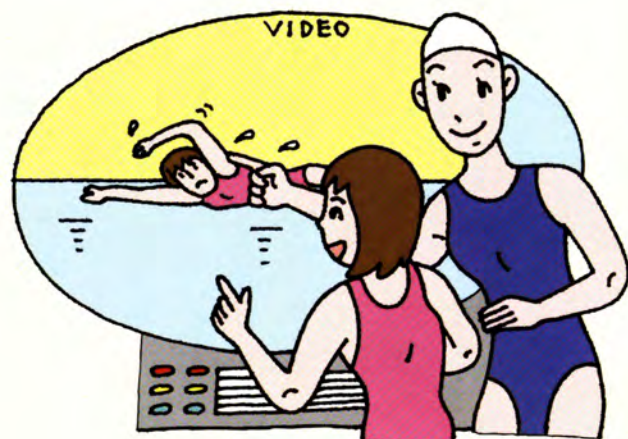
また、お年寄りと子どもたちとの交流が盛んで、地域全体で子どもの育成に取り組んでいます。

（スポーツ）

愛子さんは、毎日放課後、地域の総合型スポーツクラブに行き、水泳の練習をします。将来は日本を代表する選手をめざしています。

クラブでは、2000年とやま国体で活躍した選手たちが指導者になっており、子どもたちや勤め帰りの大人でにぎわっています。

愛子さんの名前は、2000年とやま国体のキャッチフレーズ「あいの風 夢のせて」にちなんだものです。母の洋子さんが選手として来県し、太郎さんの家に民泊したのが、太郎さんと知り合うきっかけとなったからです。



*フレックスタイム制／労働者が希望する時間に出社・退社し、所定の時間数を勤務する制度
*育児休業／育児休業法に基づき、男女が、1歳未満の子どもを養育するために取得する休暇

妨

(日常の買い物、高齢者福祉、安全)

洋子さんは、仕事を終わると、近くのショッピングセンターへ自転車で夕食の買い物に出かけます。

近所で一人暮らしをしているお年寄りの分も一緒に買ってきます。こういうボランティアが増えてきています。

今は4人に1人が65歳以上と高齢化が進み、健康に対する関心が非常に高まっていますが、介護を要する状態になった場合は、在宅福祉のほか、特別養護老人ホームなどの入所型の施設も充実しており、お年寄り自身が、サービス内容を自由に選べるようになってきました。在宅福祉は、NPO(民間非営利組織)など多様な主体がサービスを提供しています。

買い物の途中で、家の警備システムを入力してきたかどうか心配になったので、携帯電話で確認しました。地域ぐるみの防犯活動も行われていますが、犯罪の手口も巧妙になってきており、一般家庭でも警備システムを導入しています。

(夕食、健康)

洋子さんは、料理が得意です。結婚して富山県に来るまでは、魚料理はできませんでしたが、今では郷土料理をはじめ、豊富なレパートリーを身につけました。



米、魚、特産品など、富山県の食材は全国的に高く評価されており、立山家では、いつも新鮮な地元の食材を使い、料理がおいしいので、家族は大喜びです。

今日も、家族の健康のため、栄養バランスを考えて準備をしています。子どもたちも手伝ってくれますし、太郎さんも洋子さんと交替で夕食の料理を分担します。

夕食は家族一緒にとり、家族の団らんやコミュニケーションを大切にしています。

(元気な高齢者、生涯学習・文化活動)

夕食のあと、みんなで太郎さんの両親とテレビ電話で話をしました。

太郎さんの両親は、生まれ育った中山間地域の広い家に暮らしています。生活していくうえで特に不便もないし、高台から眺める田園風景がすばらしいので、ここから移り住む考えはありません。



太郎さんの父親は3年前、70歳になったのを機に、地域一帯の農地と森林を管理している農業会社を退職し、自分の農地も委託しました。

今は、自家菜園をつくるなど豊かな自然に親しみながら、恐竜化石や縄文遺跡などの文化財調査のボランティアをしたり、彫刻の製作に熱中するなど、充実した毎日を楽しんでいます。

母親は、団塊の世代といわれる戦後生まれで、この世代は「高齢新人類」といわれています。週1回、富山大学で環境問題と中国語の開放講座を受講しており、若い学生と一緒に、環日本海の環境保全のNPO活動にも参加しています。

ナチュラリストの資格もっており、夏の間は、立山で自然解説をしています。立山黒部アルペンルートは世界的に有名で、アジアなどからの外国人観光客でにぎわっており、中国語の勉強が役立っています。

(科学技術)

電話が終わってから、画像が立体的に見える3次元テレビで、火星探査の国際プロジェクトの番組を見ました。富山県立大学と太郎さんの会社が共同開発した技術が、船外活動用のロボットに採用されています。

(省エネルギー、資源のリサイクル)

洋子さんと太郎さんは、就寝前に、パソコンで、家のエネルギー使用量とその一部をまかなっている太陽光発電の状況を確認し、省エネに努めています。

明日は休日です。洋子さんは、以前から準備してきたフリーマーケットに出店します。友人たちと一緒に、家庭の不用品を集めてリサイクル商品に変えるボランティア活動をしています。明日は大盛況になることを願って眠りにつきます。

洋子さんは、太郎さんと結婚して富山県に来てから、多くの友人をつくり、富山県の住み良さとうるおいのある生活を満喫してきました。

今では、洋子さんにとって、富山県は世界で一番好きなところですよ。



計画を実現するために ～ 県民参画による計画の実施

- ・ 計画の実施にあたっては、県民の主体的な参画のもと、県民と行政が協力して県づくりを進めていきます。
- ・ 中期的な財政見通しに立った前期事業計画(2001～2005年度)に基づき、各種の施策を重点的・効率的に実施していきます。
- ・ 社会経済情勢の変化に的確に対応しながら、計画の進行管理を行います。





表紙の説明 五つの立県構想を表現する木の葉

もみじ	人材立県	子どもの手のひらのイメージから、人づくりを表わす。
つばき	生活立県	海岸から平野部、山間地まで県内に広く自生し、常緑で光沢があり庭木にも使われ、水と緑が輝くうるおいのある生活を表わす。
こなら(どんぐり)	環境立県	県内の里山に広く自生しており、自然保護、中山間地域振興の意味を表わす。
さくら	産業立県	日本を代表する花木で、世界に飛躍する産業(メイド・イン・ジャパン)のイメージを表わす。
イチヨウ	国際立県	中国の原産で、環日本海の交流を表わす。

富山県民新世紀計画(概要版)

発行 富山県(経営企画部総合政策課)

〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号 TEL 076(431)4111

県ホームページアドレス <http://www.pref.toyama.jp/>

*このパンフレットは、再生紙を使用しています。

